

上諏訪小学校 学級づくりを核とした新たな学校文化を創造する1年間



～学校の新しい当たり前が生まれてきている上諏訪中との一貫教育～

第13回の「ゆめスクールプラン推進委員会」が6月25日（金）に上諏訪小学校で開かれました。上諏訪小学校の開校と上諏訪中学校の小中一貫教育の実践について、上諏訪小学校、上諏訪中学校並びに市教育委員会より報告が行われました。

〈第13回推進委員会の内容〉

〇〈小島教育長のあいさつ〉

令和となって間もない5月末に始まった推進委員会も大きな役割を終え、本日最終回を迎えることとなりました。令和3年4月、城北小学校と高島小学校が統合し、上諏訪中学校との隣接型小中一貫教育の実施を目標に据えた本推進委員会では13回の推進委員会を始め、各部会で精力的な検討を行っていただき、新しい学校が徐々に出来上がって参りました。委員会や部会での議論はそれぞれの学校の現状や課題に立ち、地域の実情や多くの声を大事にした話し合いが続けられました。

それは、今回の再編計画が単なる統合ではなく、子供たちに力をつけ、地域と共に歩んでいく新しい教育を展開していくための営みでありました。これからも続きます市内各地区の教育改革の先駆けとなる方向性を具体的な姿で提案していただいたものと思います。新たに開校しました上諏訪小学校の子供たちの生き生きとした姿や年下の子どもたちとの交流を大切に考えようとする中学生の姿は推進委員会の皆様が目指した子供たちの豊かな姿そのものであると思います。

新しい学校は無事スタートを切りましたが、しっかりと軌道に乗っていかれるためにも推進委員会の皆様にはこれからもどうか見守っていただけますようお願い申し上げます。改めまして感謝を申し上げ最終回のご挨拶とさせていただきます。



上諏訪小学校
手長丘ホール

〇〈上諏訪小学校の様子について 上諏訪小学校長 矢島作朗先生〉

張り切っている子供たちと学校を盛り立てようと取り組んで下さるPTAの皆さん、見守って下さるコミュニティの皆さんと1日1日を積み重ねて参りました。先生方も学級づくりや保護者の皆さんとの信頼関係づくりを、情熱を持って取り組んでいます。

4月から新しい人間関係がどのように出来ていくのか見守って参りました。先生方は高島小学校から、城北小学校から、城南小学校からも来ていただいています。スタートにあたり、子供たちにとって新しい出会いになるようにシャッフルさせていただきました。

そして今、学級らしくなってきました。昨年度までサマースクールなどで交流してきたことが大きいのではないかなと思います。今年初年度の学校づくりとして、「学級づくりを核とした新たな学校文化を創造する1年間」をテーマに取り組んでいきます。

9月には運動会を迎えます。10月には公開授業研究会として地域の先生方を中心に公開いたします。上諏訪中学校とも連携する予定です。11月には音楽会を行う予定です。また全校で取り組む大切な活動として新しい校歌づくりがあります。子供たちに自分たちの校歌だという気持ちを醸成しながらスタートしていきます。3月初めの開校記念式典では校歌のお披露目をしたいなと思っています。そして、ゆめスクールプラン推進委員会の中でも話題となったように卒業式には初めての卒業生が自分たちの校歌という思いを持って校歌を歌って卒業していくことを願っています。

まだまだ取り組みたい事や考えなければならない事は沢山あります。慌てず一つずつ子供が主役で取り組んでいきますのでこれからもご支援をお願いします。（一部略）



2021/06/09
児童会・たてわり活動「ともだち集会」

〇〈上諏訪中学校の様子について 上諏訪中学校長 三輪晋一先生〉

朝の風景ですが、小学生と中学生が混ざり合って登校してきます。そして小学生と話しながら登校してくる生徒が多くいます。中学生が前を歩いている小学生を抜かずにお互いを意識する風景が見られます。学校では毎日6年生が中学校の教室に来ます。きちんと挨拶もします。学校の新しい当たり前が生まれてきています。

今週の火曜日に中学生による小学生への読み聞かせがありました。「小学生が笑ってくれてうれしい気持ちになった」などの感想があり、2回目以降も計画していきたいと思います。

読み聞かせに行く時間には、諏訪二葉の生徒が登校しているのでちょうど中学生と一緒にになります。下校時には小学生が歩いていてその後ろを中学生が歩いています。そんな光景を見ていると、ここが交流する場になっていて、交流の道であるとか連携街道なんていう名前を付けたい雰囲気が出来上がってくるとよいと思います。

授業については、6年生は学びに中学に来ているんだと感じられます。6年生が発言する声の中庭に響いて、反対側の教室にいる中学3年生が大変刺激を受けています。ある意味、中学生も学んでいます。そこに小学生がいるということが大事であると思います。

3ヶ月経つところですが、大変順調に滑り出しています。保護者や地域の方々の理解や協力があることだと思います。教育委員会の支援もなくてはならないと思いますし、今後課題が新たに生まれてくるとは思いますが、是非皆様と一緒に取り組んで参りたいと思います。よろしくお願ひします。(一部略)

上諏訪小学校は児童と一緒に主体的に作り上げていく学校

そして、上諏訪中学校と共に、新たな歩みが始まりました！



〇〈ゆめスクールプラン推進委員会 委員長あいさつ 関基様〉

本日が最後の推進委員会で、上諏訪小学校開校後の学校の様子や小中一貫教育の取組みや経過を丁寧に報告していただきありがとうございます。2人の校長先生のお話を聞いて先生も子供も毎日ドキドキワクワクしながら学校生活を送っている感じが伝わりました。とても新鮮な感じがいたします。

三輪校長先生がお話されていましたが、先日私も子供たちの登校の様子

を拝見しました。上諏訪中学校、上諏訪小学校両校の校長先生が玄関前で子供たちに声を掛けながら受け入れていました。学校に自分を待っていてくれる人がいる、受け入れてくれる人がいることは子供にとって大きな安心感を与えてくれるんだろうなと思っています。その関係が、先生と子供だけではなく、子供同士においても生まれてくるとは思います。

小中一貫教育が始まりまして9年という長い年齢層の子供たち、3つの学校の子供が一緒になって1つの環境の中で学び、生活する日々の中で小学校、中学校の枠を超えて様々な子供同士の関係が生まれると思います。もちろん小中一貫教育の実践は学校の先生方が中心となって進めて下さると思いますが、子供は大人が作り上げていく教育の仕組みを超えて、多様な人間関係に身を置きながら生きる力を身に付けていくのだと感じました。小中一貫教育が子供の元々持っている力とか資質を伸ばしていける学びの場であって欲しいなと思います。

上諏訪小学校が開校して約3ヶ月経ちました。これから新たな問題が出てくるかもしれません。それらに対処するために推進委員会、部会でご尽力いただいた皆様に変わらぬご支援ご協力をお願いしたいと思います。

諏訪市にとって歴史的な一大事業、上諏訪小学校の開校、小中一貫教育の始まりは皆様の献身的なご尽力の賜物だと思っています。(一部略)

上諏訪小学校、上諏訪中学校では、これからも日々の実践を常に振り返りながら、小中一貫教育の良さを引き出す方策を追求し、地域と学校が一体となって、「自らを拓き、未来を生きる」子どもの育成を目指し、新しい教育の姿を具現する学校づくりを進めていきたいと考えています。今後も陰に陽に皆様方の温かいご支援を、賜りますよう心よりお願ひ申し上げます。ありがとうございました。(事務局)

<連絡先> ゆめスクールプラン推進委員会 事務局
諏訪市教育委員会 教育総務課 教育企画係
TEL 52-4141 (内線467) FAX 53-8299